

高齢者に快適な「聞こえ」を

高齢化の進展により、難聴の方が増加しています。難聴になると人や社会とのコミュニケーションを避けがちになり、認知症のリスクも2倍に。ところが、わが国の約1400万人の難聴者のうち、補聴器を使っているのは約200万人に過ぎません。

近年では、従来の気導補聴器や骨導補聴器に加えて、耳の軟骨を振動させて音を伝える軟骨伝導技術を用いたイヤホンも登場。公明党は、難聴者が自分に合った補聴器を自在に選べる環境づくりを進めます。

神奈川県議会議員

HPへ▶



おのぞら

慎一郎

しんいちろう

